

令和7年度 第69回中国高等学校ローイング選手権大会 開催要項

1. 主催 中国高等学校体育連盟 広島県高等学校体育連盟 中国ローイング連盟
2. 共催 広島県教育委員会
3. 後援 福山市教育委員会 (公財) 広島県スポーツ協会
4. 協賛 (公財) 久保スポーツ振興基金
5. 主管 中国高等学校体育連盟ローイング専門部、広島県高等学校体育連盟ローイング専門部、広島県ローイング協会
6. 期日 令和7年5月30日(金)～6月1日(日)
7. 会場 福山市 芦田川漕艇場
8. 種目 男女 舵手付クォドルプル(4x+)、ダブルスカル(2x)、シングルスカル(1x) 宏
9. 参加資格 (1) 日本ローイング協会登録選手であること。
(2) 平成18年4月2日以降に生まれたもので、学校教育法第1条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。
(3) 競漕に耐えうると認定されたものであること(出漕団体の自主管理)。
10. 参加制限 (1) 各県予選上位4クルーまでとする。(但し、1xは1校3クルーまで。その他の種目は1校1クルーまで。
なお、開催県のチームボートはAクルーを優先し、枠があればBクルーまで出場できることとする。)
(2) 交代要員は、4x+は2名以内、2xは1名、1xはなしとする。
11. 競漕方法 日本ローイング協会競漕規則に準ずる。
但し、今大会に限り第28条規則は適用しない(交代要員の範囲内とする)。
また、舵手は性別を問わない。(女子が男子艇に乗る場合は40kg～)
12. 表彰 男女4x+の1位に優勝旗、2xの1位及び1xの1位にカップを、各種目の3位以上に賞状をそれぞれ授与する。
13. 負担金 各県高体連ローイング専門部は、大会運営費として20,000円を負担する。(現金持参不可、手数料は各県負担)
14. 参加料 「4x+」25,000円、「2x」20,000円、「1x」2,500円とする。(現金持参不可、手数料は各校負担)
負担金、参加料はいずれも下記口座に、令和7年5月2日(金)までに振り込むこと。

広島市信用組合 廿日市(はつかいち)支店 (110) 普通 0800485
中国高校ボート大会 事務局 田村 由貴(たむら ゆき)

15. 参加申込 別紙申込用紙に必要事項を記入のうえ、令和7年5月2日(金)までに、校長印を押したものをPDFファイルで下記E-mailアドレスへ送信するか、郵送してください。なお、エクセルファイルでも下記アドレスに送信してください。また、送金内訳書(様式指定)も同様に送信してください。※なるべくmailをお願いします。

〒733-0842 広島県広島市西区井口5丁目34-1 広島工業大学高等学校 川島 誠人 宛
TEL 082-277-9205 FAX 082-279-8245 E-mail m.kawashima.rz@kodaikoko.ed.jp

16. 日程

月 日	曜	開始時刻	内 容	会 場
5月30日	金	9:00	配艇練習 ～16:00	芦田川漕艇場
		13:00	開会式・代表者会議	水上スポーツセンター
		※開会式・代表者会議は、各学校代表者最低1名は参加ください。		
5月31日	土	8:30	競技1日目(予選・敗者復活)	芦田川漕艇場
6月1日	日	8:30	競技2日目(準決勝・決勝)	芦田川漕艇場

17. 組合せ 広島県高等学校体育連盟ローイング専門部が行う。
18. 宿泊 別紙宿泊要項による。(令和7年4月30日(水)までに申し込むこと)
19. 輸送 オール等送り先 〒720-0832 広島県福山市水呑町4748番地 福山市竹ヶ端運動公園水上スポーツセンター
TEL (084) 956-2313

※令和7年5月29日(木) 17:00～19:00に到着するように取り計らうこと。

20. その他 (1) すべてはり付けで行い、原則自艇参加とする。艇を持参できない団体は、出漕申込に借艇の申請を行う。
競漕艇は規格艇とするが、規格艇に準じた艇でも使用可とする。何れの場合も競漕規則第10条第1項に適合した艇とする。また、貸し出す艇は1994年製造桑野造船旧規格艇(女子2×は重量艇)となり、購入からすでに30年を経て老朽化が進んでいる艇であるため、そのことを承諾した上での借艇申請とすること。このことによる責任は負わない。
(2) 競漕中の疾病・傷害等の応急処置は主催者側で行うが、それ以後の責任は負わない。
(3) 引率責任者は、選手の全ての行動に対して責任を負うものとする。
(4) 競漕用ユニフォーム(各クルー統一)に県名及び学校名を明記し、所属を確認できるようにすること。
(5) コックスの計量は、出漕日ごとに該当レース発艇時刻の2時間前から行う。
(6) バウナンバープレートは、主催者側で準備する。
(7) 荒天の場合の日程等の変更については、競漕委員会の判断によるものとする。
(8) 救命具不携帯によるペナルティは課さないが、安全のため携帯を強く呼びかける。
(9) 配艇練習計画は状況により変更の可能性があるため、最終的にテクニカルハンドブックを確認すること。
(10) 開会式及び代表者会議は場所の関係で各学校代表者1～2名参加とする。昨年度優勝校は優勝旗・優勝カップを開会式に持参すること。4×+(関西・鳥取東) 2×(鳥取城北・米子南) 1×(鳥取城北・岡山東商)